

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年12月20日

事業所番号	2773302175	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	社会福祉法人 モアーマインド	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム モアーマインド	評価調査日	平成 21 年 12 月 15 日
所在地	大阪市西成区天下茶屋北二丁目4番14号	評価確定日	平成 21 年 12 月 24 日
	電話 06-6643-2120		

【情報提供票より】 (平成21年11月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	16 常勤 10人 非常勤 3人 常勤換算 10.6人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨3階建 2・3階部分
-------	-----------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	42,000円	その他の経費	30,000円	
敷金	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ()			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 250,000円	償却	有	
	償却1年			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000円	

(4) 利用者の概要 (年月現在)

利用者人数	18名	男性	10名	女性	8名
要介護1	4名	要介護2	9名		
要介護3	5名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	78才	最低	65才	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤田記念病院
---------	--------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

新築ビルの2～3階をグループ・ホームとして利用しているが、職員は働き盛りの男性管理者のリードのもとチーム力で、心のこもった介護を行ない、利用者の生活を支えている。開設後3年を経過し、職員も3年以上のベテランを中心に入・退職者も少なく、安定した介護が行われている。しかし、地域的な事情もあり運営推進会議も含めた地域との交流は多少、年月の経過が必要と考えられる

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	今回が初めての外部評価です
	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	全員初めてのことであり、管理者が呼び掛け、職員と各評価項目について検討し、反省、提案をしながら作成している。利用者は地域の事情もあり男性が半数以上で、住所も他の地域の出身者が多いと考えられる
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4、5、6)
	運営推進会議の開催について今年度は、残念ながら実施出来なかった。しかし、次年度以降は必ず実施することを期待したい
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7、8)
	ご家族アンケートに回答を頂いたご家族からは、ご満足を受けている。身寄りのない方が多いので回答は取れないが、概ねご満足をして頂いていると思われる
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	利用者に地域の方が少ないので、施設としてご近所の方々との交流や、地域の各自治会組織との連携は、まだ、これからの課題と考えられる

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「もっと心ある社会の建設、もっと心ある福祉、もっと心ある介護を」理念として掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営者、管理者、職員は理念の実践に励んでいる		
2 地域との支えあい					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	少しずつ地域との交流を進めているが、組織的な活動にまでには至っていない。今後の課題としている		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義については運営者、管理者、職員は理解し、また、これまでも改善に励んで来ている		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	今年度の運営推進会議は開催の取り組みが出来なかったが、来年度に期待したい	○	運営推進会議の開催の検討を進めて欲しい
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区役所、包括センターとの連携は出来ており、相談、連絡等が行われている		
4 理念を実践するための体制					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族とは、報告等を含めて、連絡はできている		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者、職員が来訪時に面談し、ご意見等は改善に役立たせている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		○ 利用者の生活歴もあるのかと思うが、男性の笑顔が少なかったので、笑顔が増えるように努めて欲しい
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	1ヶ月ごとの結果を踏まえて、介護計画の変更を行なっている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、ご家族の状況等を見て、適宜に支援をしている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	協力医師のご協力で往診を頂いている、通院の方への支援も行っている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りは行なっていない		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	プライバシーの情報は職員とは別室で話し合っている。又、会話については職員同士で注意し合っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務の進行優先ではなく、一人ひとりを尊重するよう支援している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材店より入手した高齢者向きのメニューを、職員が家庭感覚の調理にしている。職員に調理職経験者が在職しているので、指導を得ている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		
	25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
	27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
--	----	----	--	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
	30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○	建物外部側の引き戸の開放隙間は、関係者と相談して決めて欲しい